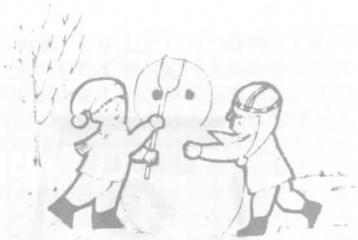




会報



DISTRICT 353
CLUB BULLETIN

創立 S34.6.9 承認 S34.6.27

鶴岡ロータリー

THE ROTARY CLUB
OF TSURUOKA

雪だるま

例会場 鶴岡市本町二丁目 ひさごや
例会日 毎週火曜日 PM 12:30 - 1:30
事務所 鶴岡市馬場町 商工会議所内
電話 0235 (2) 5775

会長 鈴木善作
幹事 高橋辰美

Renew the Spirit of Rotary

ロータリーの精神を振るい起こせ

第 789 号 1975. 1. 28 (火) (曇) No.30

会報はご家族みんなで読みましょう

◆出席報告

本日の出席

会員数	67名
出席数	56名
出席率	83.58%

前回の出席

前回出席率	71.64%
修正出席数	58名
確定出席率	86.57%

欠席者

阿宗君、三井(徹)君、森田君、中野(重)君、齋藤(信)君、佐藤(昇)君、佐藤(衛)君、佐々木君、菅原君、谷口君、富樫君

メーカーアップ

風間君—東京南 R.C
早坂(源)君、今野君、三井(健)君、中江君、佐藤(昇)君、佐藤(衛)君、鈴木(善)君、高橋(良)君、山本(隆)君—鶴岡西 R.C

◆ビジター

佐藤成生君、吉川喜一郎君、林権之助君—鶴岡西 R.C
齋藤博君—札幌南 R.C

◆点 鐘 12:30 鈴木会長

◆ロータリーソング 奉仕の理想

◆本日ビジター紹介 S.A.A

◆会長報告

◆幹事報告

◆会員スピーチ

今年の年男

上野三郎君

嶺岸光吉君

◆委員会連絡

(イ) 会員増強

(ロ) ロータリー財団

他、張君以上

◆紹淵先生鈞鑒に

お便り有難く拝見致しました。御誠意ある御言葉を頂きまして一同感激に堪えません。苗栗ロータリークラブは私が4代目の会長で来る〇月〇日に授証4周年を迎えます。まだ成立してから日が浅くこれと言う奉仕もして居りませんが、毎週火曜日午後6時の例会には殆んど28名の会員が顔を見せて出席率



も割りと良く和氣霽々たる会合をして居ります。

昨年8月、日本岐阜県多治見市西ロータリー・クラブと姉妹提携をしまして国際的活動の第一歩を踏み出しました。御承知の通り多治見は陶磁器の名産地で、苗栗にもこの種の工業がありますので地方産業の増進にもなりますので一同喜んで仲良くつき合っています。

貴兄はロータリーの大先輩で色々国際的にも御活躍して居られますので、何卒今後とも桑梓の為に一つよろしく御指導下さいませお願い申し上げます。

御令弟の張先生とは石油会社の関係で言わば同僚です。日頃仕事の関係で余り一緒ににはなりませんですけど存じて居ります。

同封にて共月の月刊とバーナを御送付申し上げます。どうぞ貴クラブの鈴木会長、高橋幹事始め会員の諸氏よろしく御鳳声下さいませ。

尚、御帰国の機会がありましたら是非御来会下さいませ様御待ち申し上げます。では向寒の折柄皆様御自愛の程 草々

1月22日

弟 詹益謙 上

◆会員スピーチ

上野三郎君

年男スピーチに代えて、今年83才の現役経済評論家、高橋亀吉氏が日経連タイムス編集長の質問に答えて話された「日本経済の生きる道」と題する記事の一部を朗読いたします。

「……そうしたところへ今度は資源の問題

が起ってきたわけです。これまで世界経済は低廉な資源が豊富にあるという前提の上に組み立てられていたのです。それが崩れたのですからこれは世界経済の変革なのです。仮に資源供給力が2割落ちたとすると先進国の資源消費も2割落ちしかないと。そうすると今回の物価の騰貴という意味は従来とはまるっきり違って来るわけです。従来は需要がふえて物価が騰貴するのですから景気がいいという反映なのですが、今回は物価が上がったのは消費を落とせということなのです。売れ行きは落ちることになる。そうすれば当然不景気になる。これが最近の世界的な不景気の中心的な理由なんです。

われわれはこれまで経済が実質何%を伸びるといって建前でやってきたわけですが、今後の平常の成長というものは大体5~7%以上はむづかしいという気がします。経営というものは少くとも3・4年先を考えなければ出来ない筈ですが、果して今、私が云ったような認識があたりか、ということなんです。というのは人員だって3・4年先を考えて採っているその建前に修正を要するわけです。いまの状態は、終身雇用を前提として過剰な人員をずっとかかえており、じつところは我慢しておれば、また高度成長期のような状態に戻るであろう。そういう期待でおやりになっているのではないかという気がする。そこが問題なんです。今後の中期的経済成長率は11~12%水準から4~7%に落ちこむのです。そうしたことを真剣に考えれば賃金を上げる力はない、当然こう考えるべきです。

今後の賃金のあり方については、まず昨春32%もの賃上げを行なったということは非常に認識不足です。私に云わせれば最近の物価高は物価が上がった分だけ消費を落とせという性格のもので、物価が上がった分だけ賃金をあげるといことは、もとのとおりの消費ができるという前提にたっているわけです。そんなことはできっこありません。そうでなくてすら日本の国際競争力は資源問題で落ちている。その上世界の2・3倍もの賃上げを行った。問題がでてこないはずはありません。日経連は今春の賃上げを15%以下とっていますが、私は15%どころじゃあない。実際は5%上げる力も今の日本経済にはないと思っている。

どういう形で需要を抑制するかといえや

はり、物価をあげる以外にはない。今までのようには買えませんよそういう方式以外には抑制はないのです。それを政府は総需要抑制という名において非常に矛盾したことをやっている。総需要抑制によって今やっていることは、設備投資と財政投資をとめることなんです。それが財政金融引締め目的であるかの如く考えている。これは全く逆なんです。需要の大部分は個人消費です。或は企業の方の経費です。だから設備投資を減らすのではなく、企業の経費をうんと減らすべきなのです。物的経費のみでなく、あれだけ余ほど人間を使って、そんなぜいたくな使い方をしている。それを節約しろということなんです。必要な設備投資とか財政投資の方はやるが企業も財政も日常経費を極力節約する。そういう政策をとるべきなのであって、それを全く逆のことをやっている、というのが私の主張なのです。

今の政府、財界の認識程度では、あまり期待できませんね。行くところまで行かないと彼らは方向転換をしそうもありません。だからかなりの破局が、これではくるぞということ。相当の失業者も出さざるを得ない。売れゆきもガタ落ちになる。全体としてはそういうことが一挙に出てきます。そうならないとなかなか自覚は出来ないのではないか。

(新内閣に望むことはとの問いに)国民のムードに媚びるな、真実を求め、これを勇氣をもって国民に伝えるべきは伝えろということです。きびしい事態にあることを早く伝えなくてはいけない。そして国民の協力を求める。世界的に資源がこれだけ不足した。だからそれだけ節約するほかない、ということは日本が一番よく国民のコンセンサスを得ることができる筈です。いまこそ節約をうんと政府はいわなければならない。

それからもう一つ政府に望みたいのは、世界的な原産品不足からきた物価高は日本ではどうすることも出来ない。しかしその摩擦をできるだけ少くするように努力します。そういわなければならない。それにも拘らずこれまで政府は物価を抑制し得るかのような発言をくり返している。これでは抑えられなくなって物価が上がると、政府が悪い、企業はけしからんという議論になるのです。あの一昨年末の段階では、安いものを仕入れていたものは値段が上がったのだから、それだけそれは儲

かっています。しかしそれは一時的なものです。それがいかにも恒久的であるかのように大企業に問題をおしかぶせてしまった。そのため国民の大多数は、今日こんなに物価が上がっているのは、大企業が儲けすぎているからだ、というイメージが出来あがってしまい、牢としてそれが抜け切れていないのです。ここがむづかしいところです。この辺のところは政府、財界、マスコミも勇氣をもって国民にその真相を卒直に云わねばならないんです。

◆幹事報告

○例会場所・時間変更

鶴岡西RC

日時 2月7日(金)午後6時より

場所 石野屋旅館(加茂港)

登録料 2,000円

○例会時間変更

山形RC

とき 1月29日(水)午後6時

ところ 丸久松坂屋 8F 例会場

○例会日・時間・場所変更

遊佐RC

2月3日(月) 節分会

(4日の例会を変更)

会場 吹浦 海禅寺

点鐘 13時

メイク料 1,500円

2月25日(火) 親睦会

会場 秋田県平沢 まるご旅館

点鐘 17時

メイク料 6,000円

※2月11日(火)当クラブ例会は祭日のため休会となります。

○事務所移転

福島北RC

福島市本町6番1号

常陽銀行福島支店3階

TEL (0245) 22-5181

内線 63

事務局員 佐藤喜和子

◆ロータリー情報委員会

張紹淵君 山本隆男君 津田晋介君

“国際ロータリーの大要と 会員達の役割について”

ロータリーの構想は、20世紀に入りかけの頃、米国の中西部の中心地シカゴ、人口200万の大都市が経済の打撃を受け、財界が不振不安の状態のさ中で、人心も荒れすさんでいたところのことでした。ヴァーモントの田舎から一人の若い弁護士、ポール・ハリスが開業していました。

開業する前に(1)セールスマン、(2)カウボーイ、(3)新聞記者、(4)俳優などの働きをし、時に、37才の青年弁護士ポール・ハリスは都会の生活に孤独を感じました。昔の田舎町にあった「睦まじさ」をよみがえさせようとして数人の友達に電話をして、お互いに助け合おうではないか、そしてクラブを作ろうではないかと提案しましたところ、4人の友達、シカゴ市内の小さい事務所に、集って、**ロータリー**が誕生したのです。その4人の名前は①ガス・ローア（鉱山技師の小さい事務所に）、②ハイラム・ショウラー（洋服商）、③ポール・ハリス（弁護士）、④シルベスター・シール（石炭商）でした。

1905年（明治38）2月23日、だんだん会員が増えるにつれて、(1)毎週会合するようになり、集まると先ず、朗らかに(2)合唱する習慣も生まれました。

クラブの目的は(1)友達をつくること、(2)お互いに商売を助け合うことをしたが、(3)それからもっと高尚な奉仕に重点が置かれるようになり、(4)或る日一人のお医者さんの宅を訪ね、馬車用の馬に死なれて困っているお医者さんに馬車馬を買って贈ったのです。

ローリーの運動は、各地で輝きはじめ、1910年（明治43）には、16のクラブが、シカゴに集まり、ロータリークラブの(1)**全国連盟**を作りました。そして1910年、ロータリーは国境を越えて(2)カナダのマントバ州ウイニベクに、クラブが結成され、**国際的組織**になりました。1911年(3)大西洋を渡り、ダブリン、ロンドン、ベルファストの各地に根をおろしたのであります。1911年（明治44）(4)公式機関誌「ザ・ナショナル・ロータリアン誌」が創刊有益な奉仕活動の媒介となっています。

1930年（昭5）、25周年を迎えるころは、地球を一周し、(5)ロータリー奉仕は、**国際的な運動**に発展して来ました。(6)1955年（昭30）の50周年に、89カ国に8,400のクラブと40万の会員を有する大組織となり、1970年（昭45）には、150ヶ国に輝き、(7)30余万の会員親睦で結ばれていて、**その中で、最も重要な人物は、新会員と全会員です。**皆様こそロータリーであります。

ロータリアンとなられた方々は、①**クラブ奉仕**をします。(1)皆、クラブ活動に積極的に参加し、(2)毎週の例会には必ず出席し、(3)委員となって活躍し、(4)新会員の増強に尽力し、(5)例会のプログラムの計画、(6)会報の執筆など、全部の会員に仕事があるのです。②**職業奉仕**については、ロータリーの会員組織は独特なもので、各自の職業を代表し、(1)その地域社会内の各種各様の職業代表をする人の構成ですので、(2)自然にその地を代表する

グループとなります。(3)職業奉仕の1番とするとところは、職業道徳の高揚であります。③**社会奉仕**では、(1)若い世代からすべての人々に住みよい社会を築き、(2)社会に必要としていることを見定め、(3)問題の大小を問わず、解決に率先して活動することです。④**国際奉仕**では(1)世界平和を求め、(2)各国民間の理解と(3)親善の増進をはかり、(4)青少年の交換、(5)海外留学金制度を支援し、(6)海外の開発途上にある、地域の援助計画に参与するように奉仕には、①**クラブ奉仕**、②**職業奉仕**、③**社会奉仕**、④**国際奉仕**の4大部門があります。次に、**会員と国際的組織との関係**はどうかを述べますと、毎年、世界の主要都市に、各国のロータリアン達が一堂に集まり、**国際年次大会**が開かれます。それは、(1)旅行を楽しみ、(2)新しい友達をつくる機会となり、(3)世界的な名士の講演を聞き、(4)すばらしい余興番組の観賞に皆様が様に招待され、(5)理事や地区ガバナーを含む国際役員達を選出する会合であります。その前に、**国際協議会**があって、(1)毎年ガバナーになる人々の養成講習する会合があります。

地区ガバナーは(1)地区内のクラブの指導、(2)助成をするため、(3)1ヶ年、無報酬で献身、奉仕される役員です。**地区**は現在345区あって各地区は平均、約50のクラブをもって編集をされています。**ガバナーの任務**は大きく、(1)新しいクラブの結成と、(2)次期クラブ役員の養成をする地区協議会を主催して、(3)地区内の会員達並びに家族の親睦、(4)感化インフォメーションの普及をはかり、(5)地区大会を司ることであります。**国際ロータリーの事務局**には、米国のイリノイ州エバンストンにあり、スイスのチューリッヒに支局があります。**事務局の仕事**は(1)国際大会及び、(2)理事会の決定事項に基づいて、(3)その実施と(4)遂行をはかり、**事務総長**以下、約30ヶ国からの職員を有する**事務局**は、(1)皆様の会員や(2)クラブ、(3)地区への奉仕、インフォメーションの提供に従事しています。

以上が、国際ロータリーと全会員の皆様の役割について、極簡単に述べました。そして全世界の職業人の国際的親睦を楽しんでいる約75万のロータリアンが共に、あなたの自分達の、ロータリアンになられたことを祝福しそして「超我の奉仕に献身するものとなりましたこと」を心から、お喜びを申し上げます。のでよろしく。

スピーチ等には要旨で結構ですので、原稿を会報委員会にお渡し下さいませ様重ねてお願い致します。御協力下さい。

上野三郎君より原稿を頂きました。